

1 開寿園 介護サービス提供方針

基本方針

利用者の「生活の質」の維持向上を目指す観点から、利用者本位の姿勢を旨とし、職員一人ひとりが利用者の立場に立って本人や家族のニーズを的確に把握し、施設職員が一体となって介護サービスを提供していきます。

重点事項

- 1 利用者の人権、プライバシーの確保に努めるとともに、個人を主体とした「住まい」としての快適な生活環境の整備を進めて、その人らしい生活の支援を行う
- 2 地域の拠点としての開かれた施設
- 3 利用者の自立支援に向けてのユニット方式による個別介護サービスの提供
- 4 個別ケアプランに基づいた健康及び療養上の管理指導
- 5 生活リハビリテーションの充実
- 6 「身体拘束廃止しずおか宣言」の遵守
- 7 介護保険法、政省令に精通し、法令を遵守する
- 8 利用者の安全生活のための環境整備・職員教育
- 9 感染症も災害と位置づけ、防災訓練の実施、地域福祉のため事業継続(BCP)を想定した運営計画の作成、実施
- 10 国が進める ICT 化に対応

【生活相談】

ご利用前に、訪問・説明を行い、施設入所中・ご利用時の不安等を軽減してまいりました。ご利用中も訪室する回数を増やし、個人個人のニーズを汲み取り、迅速に各部署にも報告・検討し、介護プランに反映してまいりました。

コロナウイルス感染予防のため、一時直接面会を制限させていただきましたが、ご家族様等には、入所者様の様子等を手紙・電話連絡にてお伝えしてまいりました。

福祉体験・ボランティア・さわやか相談員等の受け入れをさせて頂きました。今後も新しい形での「ボランティア・地域」との繋がりを検討してまいります。

従来型・ユニット型施設の特徴等を入所者・ご利用者様・ご家族様に、書類だけではなくパンフレットや別紙入所案内等を活用し解り易く説明し納得して契約まで進めてまいりました。

【介 護】

本年度も、入所様様が安全安心の中で暮らせるよう「持ち込まない、拡げない」の意識を高め、感染対策に努めました。まだまだ制限のある生活ではありましたが6月にはドライブに出かけることができ、久しぶりに風を肌で感じ、季節の移り変わりを楽しんで頂くことができました。新ジャガの季節には入所様様には収穫から参加して頂き、ジャガイモは各フロアで味噌汁として提供させて頂きました。調理は調理中の香りも楽しんで頂きたく、フロア職員が各フロア内で行い、利用者様からは「自分で収穫したジャガイモのお味は格別だった」と喜んで頂きました。また、室内でも季節を感じて頂けるよう、5月は「梅ジュース作り」、12月は「年忘れ会」、2月は「節分」、3月は「ひな祭り」など、各フロアで楽しめるよう工夫をして入所様様と共に”ちょっと楽しい時間”を企画・実施することができました。

短期入所フロアでも様々なイベントを企画し、なかでも好評だったのは、10月の「カレーを作ろう」です。ご利用様と一緒に調理を行い、ご自身で食べたい分だけよそって頂いたところ、いつもは小食でご自分の気持ちを表に出すことが苦手な方も「もっと食べたい」とお代わりされていました。8月のカラオケ大会ではご利用日を増やして参加される方もいました。

1月の「大根収穫」では、久しぶりの土いじりに生き生きとされ、日常では見られない表情を見せてくれました。

今後も、入所様様がその人らしく暮らし続けられるよう、より快適にそして安心できる環境づくりを目標に、引き続き温かい心のこもった介護と入所様様の尊厳を守り資質向上に努めてまいります。

【ユニット介護】

令和6年度、各ユニットでの「食のイベント」では入居様様との会話から、入居様様と共に企画し様々なイベントを行いました。開寿園の畑でジャガイモが穫れた際には入居様様との会話の中で「しょっぱいお菓子が食べたい」との希望が聞かれたことから、ポテトチップスを作りました。ジャガイモを薄く、慎重にスライスしてくださり、塩加減を考えたり、味見をしたり、目の前で揚げた出来立てのポテトチップスを召し上がっていただきました。企画から準備そして当日まで一緒に考え、行うことで、イベント後にはいつも入居様様と職員から「面白かった、またやろうね」と感想が聞かれます。他には入居様様のお誕生日に赤飯を炊いてお祝いをさせて頂いたり、また子供の頃、近所に来る紙芝居屋さんがとても楽しみだったという話から、その当時のように水あめや駄菓子を食べながら紙芝居を見て頂きました。各ユニットで月1回行う「食のイベント」は、そのユニットの入居様様・職員が作り出す各ユニットの色があります。学生を招待し、イベントを行う機会もあり、入居様様と触れ合い、ユニットケアを見て体験していただく場にもなりました。

また、静岡県介護技術コンテストに出場し、その際の施設サービス計画書作成では、多職種間で協力し、様々な想像も重ね人物像に思いを馳せ作り上げました。この経験を活かし、入居様様の生活を支えるため、引き続き新しい挑戦をし、専門性を高め、ユニットケアの向上に努めてまいります。

【保健衛生】

施設での生活において、ご利用者様に心身ともに穏やかに安心して生活いただけるように、健康診断の実施、医師の定期的な診察、内服薬の管理、日々の体調管理を行ってまいりました。令和6年度は、「食」について重点を置き、多職種と情報交換を行い、ご利用者様とご家族様のご意向に添った最善な対応ができるように努めました。

感染対策ではコロナ感染症をはじめ、インフルエンザ・ノロウイルス等多数の感染症が流行し対応に追われましたが、令和6年度から藤枝市立総合病院と感染対策連携を図る事業を開始したため、合同内容での研修開催、開寿園独自での研修開催、有事時のアドバイスをいただくことができました。

感染症発生時だけでなく、標準予防策である手指消毒や日常清掃などの環境整備の基本を徹底して行うこと、自己の知識、技術向上を図ると共に職員教育を継続する必要性を痛感しました。

看取り看護については、ご家族様を含めたチームとして統一したプランのもと支援を行い、令和6年度は11名の方が穏やかに最期を迎えられ、お見送りすることができました。また1名のご利用者様が、わずか一日ではありましたが、ご自宅に戻り最期を迎えることができました。ご家族様はじめ、多職種の協力で叶えることができたことに感謝しています。

ご利用者様の尊厳を第一に、開寿園介護理念の『その人らしく暮らし続けられるように生活を支えます』を忘れずに努めてまいります。

【給食】

毎日の生活の中で、大切な「食べること」へのお手伝いをすることができました。旬の食材を使用し、行事食や各種選択食を取り入れ、ご利用者様に四季を感じてもらえるように努めました。

ご利用者様個々の客観的、主観的データを元に、身体状況を把握し、適切な食事(療養食・代替食等)を提供してきました。また、必要に応じて個人の能力や嗜好に対応し、食事形態や提供方法(その方に合う食器・皿・スプーン等の使用)を各職種と相談・協力しながら進めることができました。

また、基本的な衛生管理を基に手指消毒を確実にを行うなど、職員一人ひとりの健康には十分注意して、食品(食材)の安全性に努め、毎日の衛生点検を行い、安心安全な食事の提供をしてまいりました。

【通所介護事業所】

ご利用者様の可能な限り住み慣れた地域で暮らしていくための支援と、ご家族様の介護負担軽減のためケアマネージャーや他事業所等との綿密な連携を図り、アセスメントに基づいた通所介護計画の作成や個々のニーズを的確に把握し、一人ひとりの考えや気持ち、希望に寄り添い尊重するよう心掛け、満足度の高いサービスの提供に努めました。

また、ご利用者様の身体状況に合わせた食事や安全で快適な入浴の提供、季節感のある創作活動や脳の活性化を図る脳トレ・歩行訓練を兼ねたお花見外出、買い物ツアーなど毎月いろいろなイベントを企画し、ご利用者様の心身機能の維持向上に努め、ご満足していただけるよう支援を行いました。

質の高いサービスが出来るよう定期的な職員研修や会議を行い、常に向上心を持ち必要な介護知識や技術を身につけ職員の資質の向上に努めました。

地震や火災、風水害など万が一の災害に備え日常的な防災予防を図るとともに、事故や災害を想定した避難・通報訓練を実施し、定期的に業務継続計画 (BCP) の確認を行いました。

また安全安心な送迎を実施するため、危険予知の研修や動画の視聴などを実施する事で安全運転に対する理解を深め、朝夕のアルコールチェック等により安全運転に万全を期して参りました。

感染症に対しては年間を通じ基本的な感染予防対策を継続し、日常生活や活動への参加に対しては感染リスクを下げる工夫や情報の共有、定期的に感染対策研修を実施し、安心して利用出来る環境作りに取り組みました。

今後もその人らしく暮らし続けられるように、職員一同元気と笑顔に満ちたサービスの提供と魅力のあるデイサービス作りに努めてまいります。

【居宅介護支援事業所】

ご利用者様及びご家族様が安心して在宅で生活できるように、関係機関との連携を取りながらご利用者様の立場に立って公正中立に居宅サービス計画を作成しました。

また、特定事業所として24時間連絡体制を確保し、時には休日を返上しご利用者様及びご家族様に支障が無い様に対応してまいりました。

コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策の徹底と各事業所との連携を図り情報収集にも努めました。

「藤枝市介護支援研究会」「合同事例検討会」や、「在宅医療部会」「緩和ケア検討会」などの医療系研修会や、その他の研修会にはWEBにて参加し、自己研鑽・情報収集や共有に努めてまいりました。

施設独自の対応として、「ふれあい会食会」の送迎や「おちゃまるタクシー (福祉有償運送)」などにも協力しました。

今後も、地域包括支援センターと協力し、地域の様々なニーズに合わせた対応を継続し、ご利用者様の変化や取り巻く環境に合わせて柔軟に対応してまいります。

【地域包括支援センター】

感染症拡大防止策として不測の事態が発生した場合においても業務継続計画 (BCP) に基づき業務の継続に努めました。

また、個別課題の解決に向けて「地域ケア会議」と「ネットワーク会議」を定期開催し、多職種連携、医療連携、主任ケアマネージャーとの連携強化に取り組みました。

認知症事業については、「認知症の方と家族の会:ほっと会」「居場所輪笑」「ケアラズカフェ」「若年性認知症の方への支援:さくらの会」への参加協力に取り組みました。

「認知症初期集中支援チーム」「高齢者虐待コアメンバー会議・対応会議」では、ご利用者の尊厳を保持し、行政や主治医と連携を図り、迅速な問題解決に努めました。

地域の課題解決への取り組みについては、第2層生活支援コーディネーター、地区社協、自治会、民生委員、ボランティア等住民の方とふれあいサロンや企画会議等の関わりの中で、生活支

援、介護予防の側面からの情報を積極的に地域に発信し、より良い地域づくりに向けた取り組みに参画しました。新たな社会資源開発機能として仕組みづくりから資源開発まで、法人、行政、関係機関、地域住民組織等と協議を重ね「おちやまるタクシー」の組織体制を整えました。

在宅医療、福祉、介護との連携については、藤枝市が取り組んでいる「藤の花かんかんネット」「在宅医療サポートセンター:シズケアかけはし」等の事業への協力、研修参加に努めました。

「我が事、丸ごと地域共生社会」の実現を目指すため、高齢者領域を超えて障害者領域である障害支援相談員等との情報交換会を開催し専門外の知識習得と情報共有に努めました。

静岡県介護支援専門員協会の常任理事、介護支援専門員法定研修ファシリテーター等への協力、藤枝市介護支援研究会の運営委員会及び全体研修会への参画を引き続き行いました。

地震・風水害等の災害発生に備え、日ごろから災害時の避難行動に支援が必要な高齢者等の把握に努め、必要に応じて本人・家族についての情報提供を行いました。また、市や地域等が開催する防災関係会議に積極的に参加しました。今後、災害が発生またはその恐れがある場合は、関係機関と連携して、適切な支援へつなげます。

2 開寿園利用者の生活と状況

1 1日の過ごし方(多床室)

時間	利用者	日 勤	早 番	夜 勤
4:00				巡回
5:00				
6:00	起床・洗面・着替え			起床・洗面介助・口腔ケア
	水分補給・トイレ誘導・			水分補給・検温・排泄支援
7:00	排泄支援			朝食準備
	朝食		朝食支援	朝食支援・与薬支援
8:00				巡回・ケース記録・PT-トイレ処理
	トイレ誘導・排泄支援		排泄支援	
9:00	ラジオ体操	申し送り	申し送り 入浴支援	夜勤報告
	入浴 ・リハビリ	排泄支援・入浴支援		ゴミ搬出
	(月)あやめ(火)ひまわり			
10:00	お茶の時間	シーツ交換・水分補給		
11:00	トイレ誘導・排泄支援		職員昼食	
	食事前体操	昼食準備		
12:00	昼食	昼食・与薬支援		
13:00		排泄支援		
	トイレ誘導・排泄支援			
14:00	入浴	職員昼食		
	おやつ	職員申し送り	職員申し送り	
15:00	各種行事	入浴支援・おやつ支援	入浴支援	
	トイレ誘導・排泄支援	ケース記録		
16:00		排泄支援	排泄支援	
		申し送り 夕食準備		
17:00				申し送り・夕食準備
	夕食	夕食 与薬介助		ゴミ収集・洗面台洗浄
18:00	トイレ誘導	排泄支援		夕食 与薬支援
				口腔ケア・排泄支援
19:00	水分補給			職員夕食
				水分補給・与薬支援
20:00	排泄支援			検温
				排泄支援・体位変換
21:00	消灯			消灯
				21:00～2:00(1H)休憩
22:00				巡回
23:00				
0:00	排泄支援			排泄支援・体位変換
1:00				巡回
2:00				
3:00	トイレ誘導・排泄支援			体位変換

1日のすごし方(ユニット)

時間	入居者	日 勤	早 番	夜 勤
4:00				巡回
5:00	※排泄介助はその方の排泄パターンによる			
6:00	起床・洗面・着替え 水分補給・トイレ誘導			起床・洗面介助・口腔ケア 水分補給・検温
7:00	朝食		朝食支援	朝食準備 朝食支援・与薬支援
8:00				巡回・ケース記録・PTイレ処理
9:00	ラジオ体操 入浴・リハビリ (月)さくら(火)れんげ(金)しらふじ	申し送り 入浴支援	申し送り 入浴支援	夜勤報告 ゴミ搬出
10:00	お茶の時間	シーツ交換・水分補給		
11:00	食事前体操	昼食準備	職員昼食	
12:00	昼食	昼食・与薬支援		
13:00				
14:00	入浴 さくら(月・火) れんげ(火・水) しらふじ(月・木)	職員昼食 職員申し送り	職員申し送り	
15:00	おやつ・各種行事	入浴支援 ケース記録	おやつ支援	
16:00		申し送り 夕食準備		申し送り・夕食準備 ゴミ収集・洗面台洗浄
17:00	夕食	夕食 与薬支援		夕食 与薬支援 口腔ケア
18:00				職員夕食
19:00	水分補給			水分補給・与薬支援 検温
20:00				体位変換
21:00	消灯			消灯 21:00~2:00(1H)休憩
22:00				巡回
23:00				
0:00				体位変換
1:00				巡回
2:00				
3:00				体位変換

1日のすごし方(ショートステイ)

時間	利用者	日 勤	早 番	夜 勤
4:00				巡回
5:00				
6:00	起床・洗面・着替え 水分補給・トイレ誘導			起床・洗面支援・口腔ケア 水分補給・検温・排泄支援
7:00	排泄支援 朝食		朝食支援	朝食準備 朝食支援・与薬支援
8:00	トイレ誘導・排泄支援		排泄支援	巡回・ケース記録・トイレ処理
9:00	レクリエーション 入浴	申し送り 排泄支援・入浴支援	申し送り 入浴支援	夜勤報告 ゴミ搬出
10:00	お茶の時間	シーツ交換・水分補給		
11:00	トイレ誘導・排泄支援 レクリエーション	昼食準備	職員昼食	
12:00	昼食	昼食・与薬支援		
13:00		排泄支援		
14:00	トイレ誘導・排泄支援 体操 おやつ	職員昼食 職員申し送り	職員申し送り	
15:00	トイレ誘導・排泄支援	入浴支援・おやつ支援	入浴支援	
16:00		ケース記録 排泄支援 申し送り 夕食準備	排泄支援	申し送り・夕食準備 ゴミ収集・洗面台洗浄
17:00	夕食	夕食 与薬支援		夕食 与薬支援
18:00	トイレ誘導	排泄支援		口腔ケア・排泄支援 職員夕食
19:00	水分補給			水分補給・与薬支援 検温
20:00	排泄支援			排泄支援・体位変換
21:00	消灯			消灯 21:00～2:00(1H)休憩
22:00				巡回
23:00				
0:00				体位変換
1:00				巡回
2:00				
3:00	トイレ誘導・排泄支援			排泄支援・体位変換

2 市町別入所者数(多床室・ユニット)

令和7年3月31日現在

	男	女	計	令和5年度
藤枝市	9	60	69	72
焼津市	0	3	3	2
島田市	0	0	0	1
静岡市	0	1	1	1
東京都立川市	0	1	1	1
計	9	65	74	77

3 入所者の状況(多床室 定員48)

令和6年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	令和5年度
初日在籍	47	46	47	48	48	48	46	46	46	48	48	47	-	-
入所	1	2	1	1	0	0	2	1	2	1	0	0	11	14
退所	2	1	0	1	0	2	2	1	0	1	0	2	12	9
末日在籍	46	47	48	48	48	46	46	46	48	48	48	45	-	-
延入所者	1,395	1,455	1,424	1,476	1,488	1,430	1,398	1,395	1,457	1,465	1,344	1,412	17,139	16,791

稼働率 97.8%(令和6年度) ・ 95.6%(令和5年度)

入所者の状況(ユニット 定員30)

令和6年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	令和5年度
初日在籍	30	29	28	28	28	29	30	30	29	29	28	29	-	-
入所	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	7	9
退所	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	7	9
末日在籍	28	28	28	28	29	30	30	30	29	28	29	29	-	-
延入所者	864	883	850	868	881	896	930	900	899	872	793	903	10,539	10,683

稼働率 96.2%(令和6年度) ・ 97.3%(令和5年度)

4 入所者の年齢(多床室・ユニット)

令和7年3月31日現在

	～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計	平均	令和5年度
男	1	1	1	2	1	2	1	0	9	83.0	82.8
女	1	2	2	5	19	17	13	6	65	90.1	90.0
計	2	3	3	7	20	19	14	6	74	89.3	89.0

5 入所前の生活(多床室・ユニット)

令和7年3月31日現在

	家 庭				施 設				病 院	合 計
	家族と同居	老人夫婦	一人暮らし	小計	養護	療養	その他の施設	小計		
男	1	1	1	3	2	2	2	6	0	9
女	14	4	6	24	3	4	23	30	11	65
計	15	5	7	27	5	6	25	36	11	74

6 入院の状況(多床室)

令和6年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
女	3	0	1	1	0	0	1	0	0	2	2	2	12
計	3	0	1	1	0	0	1	1	1	2	2	2	14
入院日数	28	0	6	2	0	0	10	6	23	11	50	20	156
令和5年度	3	32	12	0	0	59	52	0	0	8	7	62	235

入院の状況(ユニット)

令和6年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
女	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	5
計	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	6
入院日数	18	0	0	8	0	14	10	8	0	0	0	9	67
令和5年度	10	1	0	20	23	0	0	0	15	45	58	48	220

7 通院の状況(多床室)

令和6年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	2	1	1	2	1	2	3	3	2	2	1	2	22
女	15	13	12	13	9	12	9	4	9	12	10	5	123
計	17	14	13	15	10	14	12	7	11	14	11	7	145
令和5年度	12	14	11	10	14	14	5	9	12	16	12	9	138

通院の状況(ユニット)

令和6年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
女	12	6	11	12	7	10	12	7	7	10	12	13	119
計	13	6	12	12	7	10	12	7	7	10	12	13	121
令和5年度	11	12	11	10	5	12	5	14	9	10	9	9	117